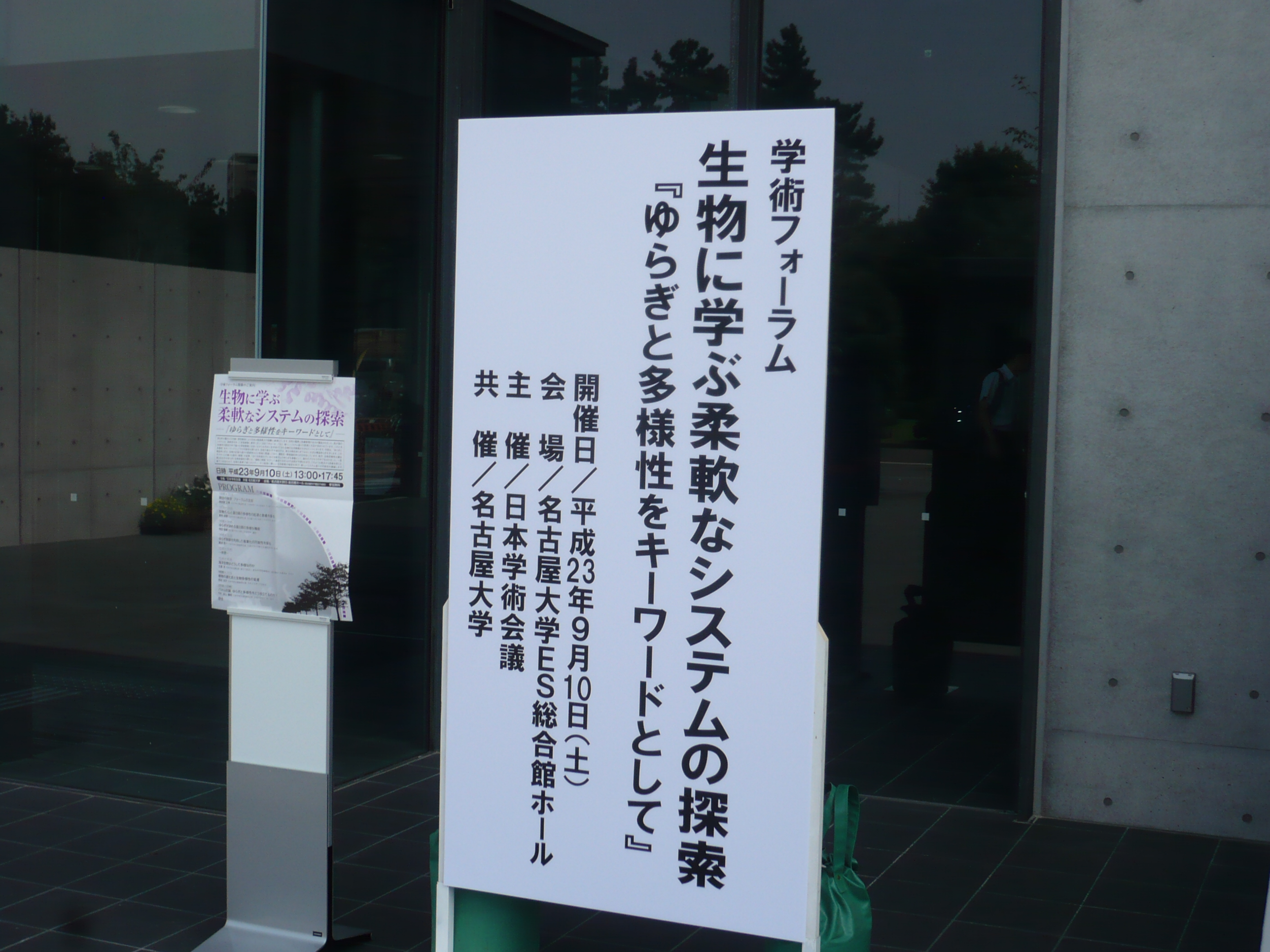
学術フォーラム
生物に学ぶ柔軟なシステムの探索
『ゆらぎと多様性をキーワードとして』
開催日／平成23年9月10日（土）
会場／名古屋大学ES総合館ホール
主催／日本学術会議
共催／名古屋大学


学術フォーラム
生物に学ぶ柔軟なシステムの探索
『ゆらぎと多様性をキーワードとして』
開催日／平成23年9月10日（土）
会場／名古屋大学ES総合館ホール
主催／日本学術会議
共催／名古屋大学
生物に学ぶ
柔軟なシステムの探索
—「ゆらぎと多様性をキーワードとして」—
日時 平成23年9月10日（土）13:00-17:45
PROGRAM

東日本大震災と引き続く原発事故により日本は戦後最大の国難に直面しています。・・・・我が国のシステムは、柔軟性を失って突発事象に素早く正しく対応できなくなっており、新しいシステム造りの思想と方法が求められています。
30億年の歴史の中で様々な突発事象に出会いながらも巧みに生き延びてきた生物の生存戦略が大きなヒントになります。・・・今回は、"ゆらぎと多様性"をキーワードとしてその可能性を探ります。
生体の高分子や超分子は、・・・・・・大きな構造ゆらぎを示します。この構造ゆらぎは、生物の応答の速さや柔軟性などと密接に関連しており、機能的・情報論的ゆらぎを内包しています。
他方、生物多様性は遺伝子やゲノムの様々な配列（情報）の変異、つまり生体高分子における配列上のゆらぎを基盤として、進化のプロセスの中で生まれました。
一見異なる分子のゆらぎと生物多様性の間には、"機能と情報"を介して通底する何らかの法則が予想されます。・・・・・生物の柔軟で省エネルギー、かつ地球に優しい生存戦略の秘密を学び、新しいシステム造りの可能性を議論します。